

稲敷市内小学校跡地の利活用に関するサウンディング型市場調査 結果の公表について

令和 7 年 3 月 3 日
稲敷市行政経営部管財課

1 サウンディング実施の経緯

稲敷市では、少子化の影響により児童数の減少が著しいことから、平成22年3月に「学校再編整備実施計画」を策定し、市内小学校の再編を実施してきました。その計画に基づき、新利根地区の根本小学校・柴崎小学校・太田小学校の3校は新利根小学校に統合され、平成26年3月をもって閉校、桜川地区の阿波小学校・浮島小学校・古渡小学校の3校は桜川小学校に統合され、令和3年3月をもって閉校となりました。

大規模な敷地と施設を有する学校跡地については、地域を活性化させるという観点から有効に活用していくことが、本市にとって重要な課題となっています。

このようなことから、民間事業者との「対話」を通じて、学校跡地（校舎、体育館、グラウンドなど）の市場性の有無や活用アイデアなどを調査するサウンディング型市場調査を実施しました。

調査を行った学校施設（土地・建物）の概要

施設名	在地
旧浮島小学校	稲敷市浮島3650番地
旧古渡小学校	稲敷市古渡2166番地
旧根本小学校	稲敷市上根本3154番地

2 サウンディングの実施スケジュール

概要	日程
実施要領の公表	令和6年11月 5日（火）
現地見学・説明会の開催	令和6年12月19日（木）
サウンディングの実施	令和7年 1月24日（金）
サウンディング結果概要の公表	令和7年 3月上旬

3 サウンディングの参加者

現地見学・説明会参加者	サウンディング参加者
旧浮島小学校：なし	旧浮島小学校：なし
旧古渡小学校：2者	旧古渡小学校：2者
旧根本小学校：なし	旧根本小学校：なし

4 サウンディング結果の概要

参加事業者 (1)

提案のあった施設	旧古渡小学校
提案者の業種	建設業
提案の内容	宿泊複合施設
事業方式	現存する建物全てを含む用地一式の借受
既存施設の整備・改修・解体等の内容	校舎、屋内運動場、児童クラブなどは、事業用途に合わせて耐震補修工事及び改修工事をする。
	プールは、プールとしての利用ではなく、状態によって別用途として利用又は解体を判断する。
地域への貢献に対する提案	市民・地域住民への地域イベント等も定期開催し、地域活性化を促進する。
	施設での雇用創出や事業者利用による稲敷市への定住を促進する。
	災害時は避難所として市に提供する。その際は、給食室を活用し食材を提供する。

参加事業者 (2)

提案のあった施設	旧古渡小学校
提案者の業種	飲食・販売業
提案の内容	複合施設（食品加工・飲食・販売・賃貸など）
事業方式	現存する建物一部及び用地一部の管理受託
既存施設の整備・改修・解体等の内容	校舎、屋内運動場の改修・解体等は、費用や劣化の程度を考慮の上、改修・解体を判断する。使用可能な備品については、活用する。
	児童クラブは、状態によって改修し利用する。
地域への貢献に対する提案	稲敷市の名産を使用した加工品で、市の経済発展につなげ、地域活性化を促進する。
	事業者が活用できる場所として、仕事を創出し定住を促進する。
	グラウンドの開放により地域住民や子供が、運動・遊びなど利用できる場所にする。

5 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、提案者からは住民の思い出の残る旧古渡小学校跡地から、桜川地区や稲敷市全体の地域の活性化を促進していけるような場所にしたいという思いを受け取りました。

今後、市有財産等利活用検討委員会等で、今回のサウンディング結果を踏まえて方針を議論し、旧古渡小学校跡地が市民にとって最も良い方法で利活用されるよう更なる検討を進めてまいります。

旧浮島小学校と旧根本小学校については、前回に引き続き、現地見学・説明会及びサウンディングの参加はいませんでした。今回の結果を受けて、関係部局と連携しながら、課題を整理し、学校跡地の利活用方針を検討してまいります。

【問い合わせ先】

稲敷市行政経営部管財課：管財担当

電話 029-892-2000 内線 2524